

一九二〇年代の新興美術運動から

原弘と造形七型



Hara Hiromu and Zoukei

From 1920s Avant-garde Art Movement in Japan

2022年7月11日(月)ー8月14日(日)・9月5日(月)ー10月2日(日)

武蔵野美術大学 美術館展示室3 ● 12:00-20:00 (土・日、祝日は 10:00-17:00) ● 水曜休館 ● 入館無料

新型コロナウイルス感染症の状況により、会期・時間を変更、あるいは予約制を導入する場合があります。ご来館に際しては最新情報を当館ウェブサイトでご確認ください。

MAU M&L

主催・武蔵野美術大学 美術館・図書館 ● 監修・高島直之 (武蔵野美術大学 名誉教授) ● 協力・特種東海製紙株式会社
〒187-8505 東京都小平市小川町1-736 ● 電話・042-342-6003 ● ウェブ・<https://mauml.musabi.ac.jp/museum>

1・ポスター《映画五月一日》
1927-29年(推定)・石版・原弘

特種東海製紙株式会社蔵

2・《薔薇を愛する少女に与ふる
hとtを主題とするモノグラム》
1925年・紙・グワッシュ・原弘・
特種東海製紙株式会社蔵

3・『新活版術研究』
1931-32年(推定)・原弘(編・訳)

東京府立工芸学校製版印刷科研究会

特種東海製紙株式会社蔵

4・原稿「新活版術研究(序)」
1931-32年(推定)・原弘・当館蔵

5・「造型スクラップブック」
制作年不明・岡本唐貴私蔵・当館蔵

6・『2600: Japan Celebrates
Twenty-Six Centuries of Imperial Rule』
1941年・日本写真協会

特種東海製紙株式会社蔵

7・『Japan Pictorial』
1937年・鉄道省国際観光局・当館蔵

8・『Four Japanese Painters』
1940年・国際報道写真協会

特種東海製紙株式会社蔵

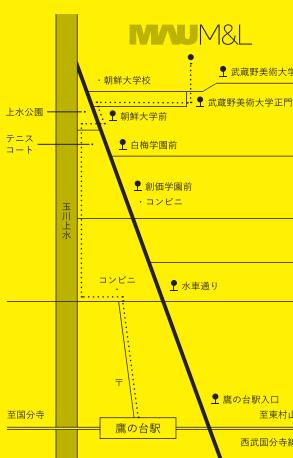
JPS
JAPAN
PHOTO
SERVICE



日本近代デザインの黎明期を切り拓いたデザイナー・原弘(はら・ひろむ一九〇三—一九八六)。原の仕事は後に手がけた多くのブックデザインやポスターの仕事によって広く知られています。また、その旺盛なデザイン実践のみならず、日本宣伝美術会の創設や本学産業デザイン学科商業デザイン専攻・現・造形学部視覚伝達デザイン学科の主任教授として後進の指導にあられるなど、戦後の日本デザイン界を牽引するオーラがナイン実践者としても活躍しました。●いっぽうで、若かりし頃の原弘が、海外のアヴァンギャルド藝術の影響を受けた新興美術運動に身を投じたことはあまり知られていません。一九二五年の「三科」第二回展への出品を皮切りに、同年に結成された「造型」や同団体が改組した「造型美術協会」に参加した原は、岡本唐貴や矢部友衛ら旧「アクション」や「三科」のメンバーと一緒に活動し、運動に深く関与しました。

しかし、この頃から海外の雑誌や書籍を通じて、ロシア構成主義のエル・リシツキーやドイツのニューハイポグラフィの理論を攝取していた原は、美術団体に身を置きながらも油彩は描かず、印刷・宣伝を専門とする立場から右石版ポスターの発表を続けました。原は後年、「造型」時代の活動を回顧し、「自分のめざすコミュニケーションの手段が、こうした組織の中では実現できないことを知つて、いつのまにか脱落していった」と述べています。●このような、一九二〇年代の経験を通して培われた原の理論は、一九三〇年代以降、自身が創設に関わった諸団体で実践に移されていきます。写真を主体とするグラフ誌など「新しい視覚的形態技術」の確立を目指したその活動は、日本の近代デザイン史の歩みそのものであったといつても過言ではありません。●本展では、特種東海製紙株式会社の原弘アーカイヴ並びに当館の所蔵資料から、一九二〇年代より四〇年代にかけての原の作品を紹介します。また、「造型」をはじめとする新興美術運動の資料や未公開の原稿・版下類をあわせて展覧し、原弘のデザインワークに通底する造型思考の検証を試みます。

一九二〇年代の新興美術運動から 原弘と造型



同時開催：
みんなの椅子 ムサビのデザインVII

Musashino Art University Museum & Library
〒187-8505 東京都小平市小川町1-736
電話・042-342-6003
ウェブ・<https://mauml.musabi.ac.jp/museum>
ツイッター・@mau_m_l

交通アクセス：

- ・西武国分寺線「鷺の台」駅下車、徒歩18分
- ・JR中央線「国分寺」駅北口(4番乗り場)より西武バス「武藏野美術大学」行き、または「小平営業所」行きに乗車、「武藏野美術大学正門」下車(バス所要時間約25分)
- ・JR中央線「立川」駅北口(5番乗り場)より立川バス「武藏野美術大学」行きに乗車、「武藏野美術大学」下車(バス所要時間約25分)

*お車でのご来館はご遠慮ください。



TRAVEL IN JAPAN